

柳津町 地域づくり

かわら版 第4号

最終回では、これまでのまとめを行い、今後の取り組みについて話し合いました！

【第4回懇談会の概要】

【日時】 平成22年3月2日(火)

【場所】 柳津町商工会館

【参加】 懇談会会員ほか16名



【地域づくり懇談会のねらい】

時代の変化に伴い、宿泊客やまちなかを歩く人も少なくなっています。

これまで、施設整備などを進めてきましたが、更に、地域づくりの方向をみなさんと一緒に考え、地域の元気・魅力を高める話し合いの場として懇談会を開催しました！！

第1回懇談会(2009/9/25) これまでの取り組みを振り返り、課題を整理しました。

【取り組みの評価】

- ・施設づくりや道路改良、案内板・マップ作成などは効果があった。
- ・おもてなしなどのソフト事業が思うように進まない。
- ・地域づくりに参加する顔ぶれがいつも同じで広がらない。

【課題】 まちなかのにぎわいをつくりたい おもてなしの心で来訪者を迎えたい
みなとや跡地の問題を解決したい



案内サインの整備



みなとや跡地の問題

第2回懇談会(2009/10/29) 柳津町の魅力は歩いてこそわかる！と考えました。

【重点的に取り組むこと】

- 1 来訪者が歩きやすい環境をつくりたい。
- 2 門前町らしい情緒を楽しめる回遊できるまちをつくりたい。
- 3 来訪者が心地よく楽しめるよう、みんなで協力してもてなしたい。



情緒ある街並み景観

地域づくり視察会(2009/12/3~4) 事例からさまざまなことを学びました。

- ・地域づくりは、住民主体で、できるだけ多くの人に参加してもらうことが大切。
- ・人を喜ばせることで自らも楽しむ考えが大切。
- ・地域づくりには、その地域に合った哲学も必要。
- ・客観的に意見を言える外部の人や若い人は地域づくりの重要な役割。



長野市松代・小布施町

第3回懇談会(2009/12/10) 当面取り組むことについて意見交換しました。

【1】 外部の人に意見をきいてみる。	外部の人たちは柳津町をどのように感じているのか聴いてみたい。
【2】 実験的にできることをやってみる。	計画を立てるだけでなく、着実に実行していくことが大切。
【3】 多くの人に参加できる取り組みを行う。	たくさんの方々と一緒に地域づくりを考えていきたい。
【4】 みなとや跡地の利活用を考える。	跡地の利活用は、町民のみなさんとじっくり考えたい。

第4回(2010/3/2) 柳津町らしいおもてなしを考え、多くの方が参加できそうな取り組みを企画しました！

【地域づくりの目標】

1. まちなかのにぎわいを再生 (まちなかを歩いている人を増やす)
2. みんなで地域づくりを実践 (地域づくりに参加する人を増やす)
3. 来訪者に感動を！地域に喜びを！(リピーターとして訪れてくれる人を増やす)

【柳津町来訪実態アンケート】（インターネットによる県内にお住まいの男女 400 名を対象としたモニターアンケート）

「柳津町を知っている」「来たことがある」は半数程度でした。来訪経験は近くに住んでいる人ほど多く、会津（9割）中通り（4割）浜通り（2割）。来訪経験者の8割は複数回来訪したりピーターでした。

滞在時間は半日未満が8割を占めており、ほぼ全ての方が自家用車で来訪しています。

来訪目的（複数回答）は、「寺社めぐり」「おまんじゅう」は50%以上、「道の駅」「斎藤清美術館」は30%、「旅館やまちなかの名所」は20%以下でした。

町の魅力・印象は、1位：あわまんじゅう、2位：自然・景観、3位：圓蔵寺という結果でした。

「柳津町でやってみたいこと」は、1位：温泉・足湯、2位：圓蔵寺参り、3位：自然散策、4位：食事でした。観光に関する要望としては、交通アクセスの改善（そもそも遠いという意見が多数）、郷土料理やお土産などの魅力があれば行きたくなる（特に女性）、観光ガイド、散策コースなどがあげられています。また、「もっと積極的にPRすべき」「風景や街並みを壊さず今のまま守ることが大切」という意見もありました。

遠くても行ってみたいと思える魅力をつくり、それをPRすることが課題のようです。

このアンケートをきっかけに「柳津町に行ってみよう」という方もいました。PR効果もあったようです。

【今後の取り組み】3つの実験的な取り組みメニュー(案)について、グループ討議を行いました！

交通実験

来訪者をまちなかへ誘導



休日交通規制	中の橋～圓蔵寺付近までの県道を安心して楽しく歩ける歩行者天国の実験を行ってみたい。日程や時間は地域住民の方々との合意を図りながら調整したい。
観光バス乗降分離	圓蔵寺前でバスを降りて参拝し、まちなかを歩いて「道の駅」からバスに乗っていただくという交通戦略を考えてみたい。旅行関係者の方々との調整しながらモニターバスツアーなどを企画し、その効果を確かめてみたい。
駐車場案内・誘導	まちなか周辺駐車場の有効活用を図るため、乗用車で来られる人への駐車場案内（看板設置や誘導員など）を行いたい。

にぎわい創出実験

情緒ある門前町・温泉街を楽しむ



和風オープンカフェ	店先や休憩所、空き家などを活用し、柳津町らしい抹茶とおまんじゅうのおもてなしを考えたい。町民の方々にも参加してほしい。
夜景を楽しむ	圓蔵寺のライトアップのほか、季節の樹木、只見川、JR只見線なども含めた夜の魅力を楽しむ企画を考えたい。
斎藤清画伯版画ツアー	以前にも実施した斎藤清画伯の版画の視点場を紹介するツアーを開催したい。遠方のファンも多いため、集客効果が期待できる。
なつかしい写真展	家々に埋もれているなつかしい写真（昭和30年代の街並みなど）をJR会津柳津駅などに飾ってみたい。

おもてなし実験

地域ぐるみで来訪者をもてなす



禅の体験勉強会	圓蔵寺に協力を要請し、住民や事業者の方々がおもてなしの精神を学び磨く機会としての勉強会を開催したい。このような取り組みは観光客も楽しめる。
お茶（お点前）の稽古	お点前の技術を学び、和風オープンカフェでお抹茶をふるまう企画を考えたい。旅館やおまんじゅう屋さんでも活かすことができる。
まちなか点検隊	住民の方々にまちなかを歩いていただき、自ら住んでいるまちを点検してみることで、魅力や問題点を再認識していただきたい。

地域づくりの主役はみなさんです。一緒に考え、実践しましょう！

ご意見・お問い合わせは、

柳津町地域づくり懇談会 事務局

柳津町役場 地域振興課 観光商工班（担当：目黒）

TEL：0241-42-2114 FAX：0241-42-3495

福島県 会津若松建設事務所 企画調整課（担当：福島）

TEL：0242-29-5455 FAX：0242-29-5459

アンケート調査などの詳細な情報がお知りになりたい方はお気軽にお問い合わせください。

懇談会で意見をいただいた3つの実験メニューについて、実現に向けて検討してまいりますので、これからもご理解とご協力をお願いいたします。